

早稲田大学 2023年度
一般選抜 教育学部

<p style="text-align: center;">国 語 (C) (問題) 2023年度</p>

〈2023 R05170015 (国語 (C))〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～7ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははつきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

(一)

次の文章は、姫野カオルコの連作小説『風のささやき 介護する人への13の話』に収録された「横浜なんかに住んでてすみません」と題された作品である。この作品は、後半の「プロフィール」と併せて構成されている。これを読んで、あとの問いに答えよ。

横浜なんかに住んでてすみません

赤江朋子（神奈川県横浜市・43）

女性。製造企業総合職。都筑区在住。一人暮らし。富

山県滑川市の実家は、義兄（60）と義兄の長男（37）

夫婦の二世帯住宅。

実家から至近距離のグループホームに実母（78）。

はい。

ええ、そうですね。

はい。

私は答える。はい。

相手の言うとおりでだから。はい。

「帰ってきてあげてね」

「お母さん、さびしがつてらっしゃるわ。帰ってきてあげてね」

「やっぱり娘さんだと顔つきがちがうわ。帰ってきてあげてね」

はい。

わかってる。わかってるよ。

帰るよ。帰る。

「三時間で着いてしまっんですものね」

「ほんと乗って、帰ってきて」

はい。

都筑区から滑川まで。神奈川県から富山県まで。センター南から市営地下鉄。横浜から東海道線。東京から新幹線と特急。魚津から北陸線。三時間というのは「とき」と「はくたか」に乗ってるところだけの計算。じつさ
いには五時間くらいかかる。

でも、前よりずっと便利になった。

神奈川と富山なんてすぐになった。

だから帰ってる。

二週間には一回。

お盆のころや年末年始は週に一回か二回。

会社が休みのとき、ぜんぶ帰ってる。

だから横浜では休む日がない。

一生懸命、帰ってるつもりなんだけどな。

でも、もっと帰らないとならないんだわ。

毎日、富山に帰らないとならない。

毎日、市営地下鉄に乗って東海道線に乗って新幹線に乗って、帰らないとならない。

でも、毎日帰っても、きつと言われるんだわ。

帰ってきてあげてねって。

会社をやめて、二十四時間、母の横にいないとだめなのね。

「そんなつもりじゃないのよ」

「お母様がとつてもうれしそうだってことを言っただけなのに」

はい。

わかってる。わかってるよ。よくわかるよ。

でも、そういうふうに響くものなのよ。

でも、そういうふうに響くって、言わない。

ぜったいに言えない。

「赤ちゃんはまだなのって、結婚を祝う気持ちで言っても、辛い気持ちになる人がいる」ってことは有名なことだけど、病気になるた親のそばにいないってことは、いけないことに、まだ、なってるから。

はい。

私は答える。

また来週、帰る。

お母さんに、私、何もしてあげられてない。

横浜なんかに住んですみません。

赤江朋子（あかえ・ともこ）／神奈川県横浜市・43）プロフィール

朋子の母親は悦子。悦子は富山県の山間部寒村の出身。裕福とはいえない実家で父母の世話をしているうち（当時としては）婚期を逃し、34歳で、48歳の赤江正雄の後妻に。

赤江は漁具店経営。心臓麻痺で急死した先妻とのあいだにA男とB子がいた。悦子が後妻に入ったときは、二人ともすでに高校生だったため、父親の再婚に対する反感はとくになく円満に暮らす。悦子はすぐに妊娠。35歳

朋子を出産。

朋子が小学校低学年のころに、先妻子のA男B子ともに結婚。A男が漁具店を継ぎ、二男一女を授かる。悦子からすると義理の孫であるこの二男一女は、悦子にとってもなついた。朋子にしても、ひとまわり以上年上の異母兄弟より、この二男一女のほうに、むしろ義理の弟妹のような感覚を抱いた。

朋子は県立高校卒業後、日本大学芸術学部に進学。卒業後、大手下着メーカーに就職。勤務四年目、新米気分が抜けてきたとき、父正雄が癌で他界するも、同居家族が多いので、父の死後も、朋子は母親悦子についてはそんなに心配はなかった。仕事にもやり甲斐を感じ、努力も怠らず、業績も認められ、そこそこ出世もできた。交際した男性もいた。なかには数年、同棲した相手もいたが、結婚はしなかった。

朋子41歳時、母悦子が海浜にて転倒し骨折した。高齢者の骨折はなかなか治らず、入院が長引いた。退院後から軽度ではあるが認知症の症状が出るようになる。体力も恒常的に衰える。

A男や甥姪たち、市の福祉課と相談した結果、認知症の進行を遅くするためにグループホーム入居に申し込む。二年待つて空室ができて入居。

グループホーム形態の効果あつて症状の進行は遅くなり体力も以前より快復し、他の同居者とも友好的に過ごしている。

(姫野カオルコ『風のささやき 介護する人への13の話』による)

問一 傍線部1「やっぱり娘さんと顔つきがちがうわ。帰ってきてあげてね」とあるが、この「相手」はどのような価値観を持った存在と考えられるか、最も当てはまるものを次のイ〜ホの中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 母親は本心を隠して振る舞うので、娘の方が想像力を働かせるべきだという価値観。
- ロ 変化に乏しい日々を送る人は、華やかな若い女性の存在に慰められるという価値観。
- ハ 母親は女性同士の娘と共感しやすく、男性である息子を敬遠しがちだという価値観。
- ニ 親は子どもが何歳になっても心配をしているので、密に交流すべきだという価値観。
- ホ 親が本音として介護されたいと考えている相手は、血縁の実子であるという価値観。

問二 作中で繰り返される言葉「はい」と「でも」とに着目して、「私」が富山のグループホームにいる母を訪問することにどのような思いを抱えているかについて、記述解答欄に1000字以内で記せ(句読点等も含む)。

問三 作者はこの作品集の「はじめに」で、「プロフィールこそが、この本を掌編小説とする所以です」と述べているが、前半の部分とプロフィール部分の双方が示されることの読者に与える効果について、あなたの考えを記述解答欄に2000字以内で記せ(句読点等も含む)。

(二) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

近頃、和歌の道、ことにもてなされしかば、内裏、仙洞、摂政家、いづれもとどりに、そこをきはめさせ給へり。臣下あまた聞こえし中に、治部卿定家、宮内卿家隆とて、家の風絶ゆる事なく、その道に名を得たりし人々なりしかば、この二人にはいづれも及ばざりけるに、ある時、摂政殿、宮内卿を召して、当時正しき歌よみ多く聞こゆる中に、いづれかすぐれ侍る。心に思はんやう、ありのままにと御尋ねありければ、いづれともわきがたく候とばかり申して、思ふやうありげなるを、いかにいかにとあながちに問はせ給ひければ、ふところより畳紙を落として、やがて出でにけり。御覽せられければ、

明けば又秋のなかばも過ぎぬべしかたぶく月の惜しきのみかは

と書きたり。この歌は治部卿の歌なり。かかる御尋ねあるべしとはいかでか知るべき。ただ、もとよりおもしろくおぼえて、書き付けて、持たれけるなめり。

その後、又治部卿を召して、さきのやうに尋ねらるるに、これも申しやりたるかたなくて、

かささぎのわたすやいづこ夕霜の雲井に白きみねのかけはし

と、たかやかながめて出でぬ。これは宮内卿の歌なりけり。まめやかの上手の心は、されば一つなりけるにや。

〔今物語〕による

問四 本文中に、和歌以外に発話箇所が三箇所ある。それぞれ、発話箇所のはじめの二字と終わりの二字を発話

箇所が登場する順に抜き出し、記述解答欄に記せ。なお句読点は字数に含めない。

問五 傍線部1「まめやかの上手の心は、されば一つなりけるにや」という作者の感慨について、本文中の人物

同士の関係を踏まえて、記述解答欄に六〇字以内で記せ(句読点等も含む)。

問六 次の空欄に当てはまる言葉を、a、b、cはAの選択肢から、dはBの選択肢から選び、それぞれ解答欄にマ

ークせよ。

問題文中の「定家」「家隆」は、どちらも勅撰和歌集『a』の撰者である。「定家」の親の藤原俊成は『b』の撰者であり、息子の為家は『統後撰和歌集』の撰者である。勅撰和歌集は『c』から始まり、有名な仮名序を書いた「d」は、日記も遺している。勅撰和歌集編纂によって、高いステータスを得ることとなった和歌文化は、問題文の時期、大きく花開いていた。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|---|--------|---|--------|
| A | イ | 万葉集 | ロ | 古今和歌集 | ハ | 後撰和歌集 | ニ | 拾遺和歌集 | ホ | 後拾遺和歌集 |
| | ヘ | 金葉和歌集 | ト | 詞花和歌集 | チ | 千載和歌集 | リ | 新古今和歌集 | ヌ | 続古今和歌集 |
| B | イ | 在原業平 | ロ | 柿本人麻呂 | ハ | 紀貫之 | ニ | 紀友則 | ホ | 伊勢 |
| | ヘ | 赤染衛門 | ト | 紫式部 | チ | 和泉式部 | リ | 菅原孝標女 | | |

次の文章は、明治二十一年に出版された西村茂樹『日本道德論』の一節である。これを読んで、あとの問いに答えよ。なお、設問の都合上、原文の表記を一部改めた箇所がある。

凡ソ天下ニ道德ヲ説クノ教^{せしあまた}数多アレドモ、合^{あは}セテ之ヲ見ルトキハ二種ニ過ギズ、一ヲ世教ト云ヒ、一ヲ世外教(又之ヲ **A** トイフ)ト言フ。支那ノ儒道、歐洲ノ哲学ハ皆世教ナリ、印度ノ仏教西国ノ耶蘇教ハ皆世外教ナリ。何故ニ之ヲ世教トイフ、儒道哲学ハ共ニ現世ノ事ヲ説キ、此現身ヲ修ムルコトヲ説キ、此現在ノ邦国及び社会ヲ調和スルコトヲ説ケバナリ。仏教ト耶蘇教トハ何故ニ之ヲ世外教ト言フ、其教タル現世ノ事ヲ言ハザルニ非ザレドモ、其帰着スル所ハ未来ノ応報ト死後魂魄ノ歸スル所ニ在ルヲ以テナリ。凡ソ世界万国既ニ国アルトキハ必ず世教、世外教ノ一種アラザルハナシ、世教ハ道理ヲ主トシ、世外教ハ信仰ヲ主トス、皆以テ人心ヲ固結シ、又人ヲシテ惡ヲ去リテ善ニ就カシムルニ非ザル者ナシ、即チ道德ヲ教フルニ非ザル者ナシ。西洋諸国ハ多ク世外教ヲ以テ中等以下ノ人心ヲ固結シ、世教(哲学)ヲ以テ中等以上ノ人智ヲ開發ス。又東洋ニ於テ支那ノ如キハ古来ヨリ世教(儒道)ヲ以テ上下共通ノ教ト為シ、世外教(仏教)ハ中葉ヨリ其国ニ入り来レドモ、其勢力大ニ儒道ニ及バズ、以テ今日ニ至レリ。日本ノ如キハ、世教世外教相繼^{ついで}テ他国ヨリ入り来リ、其中仏教ハ上下共ニ一般ニ行ハレ、儒道ハ独リ上等社会ニノミ行ハレタレドモ、其初メハ勢力大ニ仏教ニ及バズ、三百年以前ヨリ儒道大ニ武門ノ家ニ行ハレ、全国ノ大名士族ハ皆儒道ノ教育ニ依ラザルハナシ。此大名士族ト云フ者他ノ三民ノ上ニ立チ、全国ノ威權ハ皆此種族ノ手ニ歸セシヲ以テ、儒道ノ流行実ニ其盛ヲ極メ、何レノ大名モ大抵儒道ノ学校ヲ其国ニ建テ、政治法律共ニ儒道ニ根柢シテ其制ヲ定メ、仏教ノ如キハ独リ下等人民ノ信仰スルニ止マリテ、其勢力大ニ儒道ニ及バズ、以テ徳川幕府ノ末ニ及ベリ。

王政維新ノ初メ、旧物ヲ一洗シテ尽ク其面目ヲ改ム。是ニ由リ從來士人ガ尊奉シテ道德ノ標準トスル所ノ儒道ヲモ廢棄シ、別ニ神儒混淆ノ教ヲ立テ以テ之ニ代^かントセリ。然ルニ此教遂不能成立シテ、一旦廢棄セル儒道ハ復タ起スベカラズ、是ニ依リ日本ノ中等以上ノ人士ハ道德ノ根柢ヲ失ヒ、封建ノ時ニ比スレバ人心其固結力ヲ弛緩シ、民ノ道德漸ク頹敗^{たふは}ノ兆ヲ萌^もセリ、神道ト云フ者ハ一時政府ニテ大ニ之ニ助力シ、頗ル隆盛ニ向ハントスルノ勢アリシカドモ、到底其説ク所ハ當時人智開發ノ度ニ不能伴。仏教ハ久シク下等ノ民ノ間ニ行ハレ、中等以上ノ人士ハ之ヲ信仰スルコト極メテ罕ナルヲ以テ、共ニ人心固結ノ功力ヲ不能現、是ニ於テ道德ノ一事ニ至リテハ、我邦ハ世界中一種特別ノ国トナレリ。何^{なんとして}則世界何レノ国ニ於テモ、或ハ世教或ハ世外教ヲ以テ道德ヲ維持セザル者ナキニ、³我國独リ道德ノ標準トナル者ヲ亡シタレバナリ。

(西村茂樹『日本道德論』による)

問七

空欄

A

に相応しい漢字二字の語を、あなた自身が考えて記述解答欄に記せ。

問八

傍線部1「人ヲシテ惡ヲ去リテ善ニ就カシムルニ非ザル者ナシ」を白文に改めた場合、最も適切な語順のものの中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 令人非無去惡而就善者
- ロ 令人無去惡而非就善者
- ハ 非無令人去惡而就善者
- ニ 無非令人去惡而就善者
- ホ 無令人非去惡而就善者

問九 傍線部2は、設問の都合上、白文「此教遂不能成立」に改めている。この白文をすべて平仮名による書き下し文に改め記述解答欄に記せ。

問十 傍線部3「我国独り道德ノ標準トナル者ヲ亡失シタレバナリ」とあるが、なぜ日本だけが「亡失」したのか。その説明として本文の内容に合致しないものを次の中から一つ選び解答欄にマークせよ。

イ 世外教として長らく日本社会の道德的規範でもあった仏教は、儒道全盛の江戸時代を経て、明治に入る
と下層の民のみが信仰する対象となり、そのためかつての求心力は完全に失われ、全国民の道德的規範と
はなり得なくなつたから。

ロ 幕末まで大名士族に圧倒的に支持されていた世教としての儒道であったが、明治に入り政府は新たに神
道と儒道を混淆した世外教を起こしそれを強化したため、儒道は廃れてかつてのような求心力も失われ、
世教としての道德的規範力を失つたから。

ハ 明治に入り政府の肝いりで勢力も大いに隆盛に向かった神道であったが、その道德的所説は文明開化に
よつて新時代を切り拓こうとする中等以上の人士の心をつかむことはできず、世外教としての確たる尊崇
を向けられることもなく、国民的な道德の規範とはなり得なかつたから。

ニ 他国では、世教と世外教の少なくとも一つが道德の規範として尊崇されているのが常だが、日本では維
新政府が江戸時代とは相異なる規範を打ち立てようとして成功しなかつたために、世教と世外教のいずれ
においても国民の道德的規範として相応しい教えが存在しなくなつたから。

ホ 儒道の一部を取り入れた国家神道と政府の圧力によつて、儒道は独自性と求心力を失つた一方、神道は
政府の後押しもあつて隆盛し、明治時代、世外教の代表として君臨して、新たな道德規範を打ち立てるか
に見えたが、仏教界の強力な反対にあい、結局、江戸時代の大名士族における世教としての儒道と同じ役
割を果たせなかつたから。

〔以下 余白〕

国語 (C)

(記述解答用紙)

注 意

1. 受験番号 (算用数字)・氏名は指示に従ってただちに所定欄に記入し、それ以外に記入してはならない。
2. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
3. 解答はHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで書くこと。
4. 試験終了時にはこの解答用紙を裏返して机の上に置き、指示を待つこと。

<2023 R05170015 (国語(C))>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

(三)
問九
問七

--	--

--	--

(二)
問五
問四

--	--	--	--

60

--	--

(一)
問三
問二

--	--

200

100

--	--

--	--

解答欄

採点欄

<2023 R05170015 (国語(C))>



受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

--	--

--	--

--	--

--	--

採点欄